

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもの城ほんじょう		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験年数の長い職員が多く、保護者様から安心して児童様を任せていただける職員体制である。強度行動障害実の資格者も在籍しており、より専門的な支援が可能。	日々、職員間でのミーティングを行う事で支援の在り方を考えております。経験年数や資格取得については、保護者様に安心感を与えるものとして捉えております。	より専門性のある職員体制をめざしております。資格取得について率先することはもちろん、研修についても多く参加していきたいと考えます。
2	保護者相談をすぐに対応できます。家庭との連携を第一に考えた支援を実施しております。相談支援事業所との連携も深めていけるよう対応しております。	保護者様とは、児童様の送迎時にしっかり会話できるよう時間をもうけております。利用や児童様の生活などお話を伺いながら、支援内容を決めております。	年2回のモニタリングに加え、要望がありましたらいつでも面談や相談をお受けできるようしてまいります。
3	外出支援や調理活動に力を注いでおります。児童様から好評をいただいております。	活動がマンネリ化せず、外出先や調理内容がマンネリ化しないよう職員間で決めております。	今後は、社会化体験や公共交通機関の体験といったより社会で役立つ体験をしてもらえよう、活動に含めていきたいと思っております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的な支援が可能であると自負しておりますが、まだまだと感じる所があります。より専門性に特化した支援がもたられていると感じております。	職員の高齢化が課題です。若い世代の活躍も期待しますが、なかなか難しいといった現状です。	地域に根差した事業所である事で、人材の登用も可能なのでは思っております。地域イベントの参加やボランティア交流といったことも取り入れてまいります。
2	家族支援については、積極的ではありますが、望まないご家庭もごございます。こうしたご家庭に如何に支援に対する賛同をいただけるかが課題であります。	個人情報の観点からやむを得ないといった事が要因とも思われます。つかず離れずの支援が適正なのか、といった事は事業所として考える課題であります。	より開けた在り方を考えていきます。見学しやすい雰囲気・相談しやすい・情報開示がしっかりしている事業所を目指しております。
3	前述のとおり、活動についてはワンパターンになりがちです。	児童様の特性や日々の様子を考えた上で、奇をてらう内容は、かえって児童様が混乱することも考えております。活動の詳細についてよく吟味した上で実施するべきと考えます。	活動後は、必ず内容・行程といったものをフィードバックしていき、次回、同じ内容であってもより活動を実施していく必要があります。